

OHBYカードの活用

「カード式職業情報ツール」の開発と展開

東京医科大学
菰田 孝行

「カードソート技法」の特徴と設計思想

- 「カードを分類したり、並べ替えたりといった作業を通じて、自分の職業に対する適性や興味を知り、自分が関心のある職業やこれまで知らなかった職業について知ることができる。」
- ①カードの枚数が適切である。
- ②カードは絵や写真などによる職業情報である。
- ③様々な目的に使用できる。多様なキャリアニーズに対応できる。
- ④キャリアガイダンス研究の蓄積を十分に活用する。

下村他(2005)よ

OHBYカードのセット内容



ケース

カード

説明書

OHBYカードの外観



表面

裏面

OHBYカードの内容【表面】



絵：職業ハンドブックOHBYから、その職業の内容を特によく表す絵を配置



写真：OHBYから、その職業の内容を特によく表す写真を配置

OHBYカードの内容【裏面】

11

 **気象予報士**

気象衛星やレーダー、測候所で観測された気象データを集めて、天候を予測します。テレビで天気予報を発表し、気象の情報を伝えます。

産業：サービス業
興味：I 研究・調査タイプ
(研究的領域)
対象：情報◎ ヒト○ モノ△



職業分野マーク: OHBYの「職業パノラマ」に使用されているマークを記載

職業名: 職業の名称を記載

カード番号: 職業名の「あいうえお」順に通し番号を記載

(整理などのために便宜的に振った番号で、順序に意味はない)

職業情報: 70～80字で職務内容を簡潔に記述

11

 **気象予報士**

気象衛星やレーダー、測候所で観測された気象データを集めて、天候を予測します。テレビで天気予報を発表し、気象の情報を伝えます。

産業：サービス業
 興味：I 研究・調査タイプ
 （研究的領域）
 対象：情報◎ ヒト○ モノ△



詳細分類：

産業⇒産業分野を記述

（日本標準産業分類に準拠）

興味⇒「ホランドコード」を記載

対象⇒「DPT分類」を記載

何を対象とする職業かを示す。

{ D:DATA(文字や数字)
 P:PEOPLE(人)
 T:THING(モノ)

◎:高 ○:中 △:低

職業選定の基準

職業ハンドブックOHBYの中から48職業を抜き出して作成

- ①VPIの興味領域「RIASEC」の6領域に準拠
職業興味を刺激するようバランスよく選定→職業興味を網羅
- ②OHBY職業パノラマ、日本標準産業分類と比較
→特定の産業や職種に偏らないように選定
- ③DPTのバランスに考慮
→高・中・低に、極端な偏りがないように考慮



職業興味を優先して選定！



④多くの人に理解可能な職業であるか

→中高生がイメージできる職業を選択

「職業認知調査(中高生対象)」(2000年実施)

JIL資料シリーズNo.112「中学生・高校生の職業認知」に所収

⑤絵・写真の絵柄や雰囲気

●見た目のわかりやすさ

OHBYに掲載された絵や写真の中から見た目のわかりやすさを考慮して選択

●描かれているのが男性か、女性か→男女に偏らないように考慮



総合的に判断をして選択！



OHBYカードの特徴

- ①カードの取り扱いが容易である。
 - ②絵や写真などを用いたものである。
 - ③多様な目的、対象者で利用できる。
 - ④職業理解と自己理解を同時に深められる。
-
- キャリアコンサルタントや教員が独自に工夫
 - 多くのニーズに対応
-
- 解釈は容易ではない



「標準手続き」と具体的活用方法

海外で行われてきた「一般的な使い方」

⇒従来のカードソート技法をもとにした「標準手続き」を設定

3ステップ:「分類」、「選択しない」、「選択する」

「標準手続き」 ⇒ 独自に工夫が可能

①「自己使用型」個人でカードを使用

②「個別カウンセリング型」キャリアカウンセリング場面での活用

③「グループワーク型」グループディスカッションをしながらの活用

集团的に活用、授業内で活用他、工夫次第



課題・ワークシートとの組み合わせ

課題やワークシートとの併用により、

効果的なキャリアガイダンスを実施可能

- ①職業カードセッション分析シート
- ②職業興味シート:「RIASEC」解説
- ③職業分野シート:「職業分野マーク」解説
- ④クライアント用シート
- ⑤カウンセラー用シート
- ⑥職業カード分析シート(個人用簡易シート)

「OHBYカード活用の手引き」(2008)に掲載



質的アセスメントの重要性

- 質的アセスメント
- 検査やテストを使って数字で「量的」に診断を下すのではなく、クライアント自身の考え方を「質的」に引き出そうとする。
- クライアント自身が自分なりの枠組みで解釈し、表出し、自分で考えを深められるような形で考えられているワーク・ツール・手法。
渡部(2015)より
- 実践例 対象:女子大学生 3年生 8名 (2003年実施)
 - ・ゲーム感覚でできて、おもしろかった
 - ・絵や写真など視覚的な情報が多く、わかりやすかった
 - ・実際に作業をしたので、テストよりも結果に納得できた

まとめにかえて

- ①クライアントが自らの言葉で自分のキャリアに関する考え方を組み立てるための技法
- ②カードを使用することによって、クライアントとキャリアの対話が促進される
- 社会構成主義キャリアカウンセリング
- 「クライアントの過去・現在の価値観やライフ・ストーリーを紡ぎだすための手法。」
- 量的に標準化されていない。

「自分の言葉で自らのキャリアを組み立てられるように働きかけるツール」

労働政策研究・研究機構(2012)、(2016)より

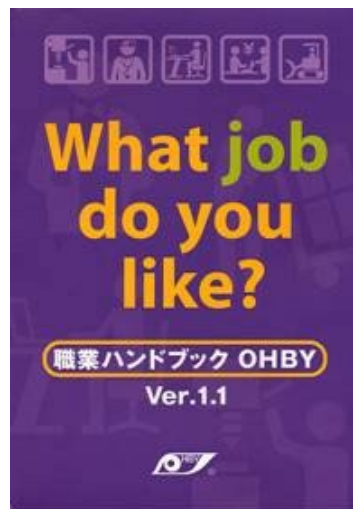
引用・参考文献

- 労働政策研究・研修機構 (2008)「OHBYカード」活用
の手引き, 労働政策研究・研修機構.
- 労働政策研究・研修機構編 (2012) キャリア形成支援
における適正評価の意義と方法, 労働政策研究・研修
機構.
- 労働政策研究・研修機構編 (2016) 新時代のキャリア
コンサルティング, 労働政策研究・研修機構.
- 下村英雄, 吉田修, 石井徹, 菰田孝行 (2005) 職業
カードソート技法とキャリアガイダンス, 労働政策研究・
研修機構ディスカッションペーパーシリーズ,
05-10.
- 渡部昌平編著 (2015) 社会構成主義キャリア・カウンセリ
ングの理論と実践, 福村出版.

「OHBY」とは？

「職業ハンドブックOHBY(オービィ)」は、現代の主要な職業について、中高生向けにわかりやすく解説した、進路学習・ガイダンスのためのツール。

(OHBY:Occupation Handbook for Youth)



日本労働研究機構(当時) 2002年 開発